平成25年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成25年2月8日

上場会社名　第一商品株式会社　　上場取引所　大
コード番号　8746　URL　http://www.dai-ichi.co.jp
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 土肥　章
問合せ先責任者 (役職名) 総務本部長　(氏名) 岡田　義孝　TEL 03-3462-8011

四半期報告書提出予定日　平成25年2月14日
配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　無
四半期決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第3四半期の業績(平成24年4月1日～平成24年12月31日)

(1) 経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	5,242	△20.0	148	△90.5	378	△80.0	184	△81.2
24年3月期第3四半期	6,554	38.7	1,571	―	1,894	―	981	―

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第3四半期	11.98	―
24年3月期第3四半期	63.47	―

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年3月期第3四半期	42,493	8,838	20.8	572.55
24年3月期	41,087	8,967	21.8	580.55

(参考) 自己資本　25年3月期第3四半期　8,838百万円　24年3月期　8,967百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	―	―	―	20.00	20.00
25年3月期	―	―	―		
25年3月期(予想)				20.00	20.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 平成25年 3月期の業績予想(平成24年 4月 1日～平成25年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,810	21.8	3,210	148.0	3,420	95.5	2,098	127.2	135.82

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 ： 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 ： 有
② ①以外の会計方針の変更 ： 無
③ 会計上の見積りの変更 ： 有
④ 修正再表示 ： 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期3Q	16,227,207 株	24年3月期	16,227,207 株
② 期末自己株式数	25年3月期3Q	789,942 株	24年3月期	779,942 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期3Q	15,439,909 株	24年3月期3Q	15,464,738 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)2ページ「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）経営成績に関する定性的情報 …… 2
（２）財政状態に関する定性的情報 …… 2
（３）業績予想に関する定性的情報 …… 2
２．サマリー情報（注記事項）に関する事項 …… 3
（１）四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 3
（２）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 3
３．四半期財務諸表 …… 4
（１）四半期貸借対照表 …… 4
（２）四半期損益計算書 …… 6
第３四半期累計期間 …… 6
（３）継続企業の前提に関する注記 …… 7
（４）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 …… 7

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）経営成績に関する定性的情報

当第３四半期累計期間におけるわが国経済は、一部に震災復興関連の需要の高まりを背景とした緩やかな回復の兆しが見られたものの、欧州債務危機の深刻化や新興国の成長力鈍化、東アジア情勢等の悪化、さらに世界経済全体の減速懸念や、国内における円高およびデフレの影響等も加わり、国内生産や輸出の減退、企業収益の減少、個人消費の圧迫など弱含みにシフトしました。

しかし、12月の総選挙の結果を受け、政権交代を契機に景気回復重視の方針が国内金融市場を中心に支持され、大幅な円安及び株価の急上昇につながるなど、今後の国内経済立直しに向け、期待の持てる環境へと変化を見せ始めております。

当商品先物市場においても、金価格の動向が９月の米連邦準備制度理事会（ＦＲＢ）の量的金融緩和第３弾（ＱＥ３）の発表以降、再び上昇基調となり市場のけん引役となっております。その結果を受け、商品先物市場の売買高も第２四半期終盤から徐々に改善の傾向が見られつつありますが、未だ昨年の第３四半期会計期間の水準（前年同期比9.5%減）までには及ばず、第３四半期累計期間の国内商品先物市場売買高は40,023千枚（前年同期比21.9%減）となりました。

当社におきましては、引き続き金を中心とした営業の積極展開、情報サービス提供に加え、テレビＣＭ等を始めとしたメディアを積極的に活用し啓蒙活動を推進。当社に対する問い合せや来店者も確実に増加し、その反響の大きさと同時に責任も実感しております。

また、金を取り巻く環境の改善により、当社の第３四半期会計期間における商品先物取引売買高は前年同期比で42.5%上回り、当第３四半期累計期間における当社の商品先物取引売買高は627千枚（前年同期比18.8%減）まで回復いたしました。

さらに、第３四半期会計期間における営業収益2,449百万円を積み上げたことにより、同会計期間の四半期純利益は554百万円の利益計上となり、累計期間においても黒字に転換いたしました。

この結果、当第３四半期累計期間における営業収益は5,242百万円(前年同期比20.0%減)、営業利益は148百万円（前年同期比90.5%減）、経常利益は378百万円（前年同期比80.0%減）、四半期純利益は184百万円（前年同期比81.2%減）となりました。

（２）財政状態に関する定性的情報

当第３四半期会計期間末における総資産は、前事業年度末に比べ1,406百万円増加し、42,493百万円となりました。

これは主に外国為替取引預け金が1,185百万円増加したこと等によるものです。

また、負債につきましては、前事業年度末に比べ1,535百万円増加し、33,655百万円となりました。

これは主に預り証拠金が1,690百万円増加したこと等によるものです。

純資産は、前事業年度末に比べ129百万円減少し、8,838百万円となりました。

これは主に四半期純利益を184百万円計上しましたが、配当金を308百万円支払ったこと等によるものです。

（３）業績予想に関する定性的情報

平成25年３月期業績予想につきましては、当初予想を若干下回って推移しておりますが、情宣活動や市場環境の好転が今後期待されること等を踏まえ、平成24年11月２日に公表いたしました通期の業績予想内容に変更はございません。

２．サマリー情報（注記事項）に関する事項

（１）四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（２）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（減価償却方法の変更）

当社は、法人税法の改正に伴い、第１四半期会計期間より、平成24年４月１日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これにより、従来の方法に比べて、当第３四半期累計期間の営業利益、経常利益及び税引前四半期純利益はそれぞれ2,624千円増加しております。

３．四半期財務諸表

（１）四半期貸借対照表

（単位：千円）

	前事業年度 （平成24年３月31日）	当第３四半期会計期間 （平成24年12月31日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	12,643,630	12,754,003
受取手形及び売掛金	68,809	140,238
委託者未収金	184,092	128,384
商品	623,364	635,082
保管有価証券	4,435,504	4,588,462
差入保証金	11,867,282	16,713,443
委託者差金	5,530,601	－
外国為替取引預け金	879,959	2,065,120
その他	1,128,724	2,149,118
貸倒引当金	△6,919	－
流動資産合計	37,355,051	39,173,853
固定資産		
有形固定資産	576,814	559,828
無形固定資産	83,772	103,945
投資その他の資産		
投資有価証券	85,989	83,582
固定化営業債権	2,272,796	1,858,075
破産更生債権等	1,383,575	1,383,575
その他	1,918,713	1,648,909
貸倒引当金	△2,589,186	△2,318,011
投資その他の資産合計	3,071,888	2,656,130
固定資産合計	3,732,475	3,319,904
資産合計	41,087,527	42,493,758

(単位：千円)

	前事業年度 (平成24年３月31日)	当第３四半期会計期間 (平成24年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	145,134	154,284
未払法人税等	34,200	19,282
賞与引当金	83,494	29,189
役員賞与引当金	30,000	－
預り証拠金	26,311,978	28,002,381
預り証拠金代用有価証券	4,435,504	4,588,462
委託者差金	－	147,072
その他	653,209	307,997
流動負債合計	31,693,523	33,248,670
固定負債		
退職給付引当金	389,971	372,992
その他	6,018	－
固定負債合計	395,990	372,992
特別法上の準備金		
商品取引責任準備金	30,091	33,414
特別法上の準備金合計	30,091	33,414
負債合計	32,119,604	33,655,076
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,693,150	2,693,150
資本剰余金	2,672,071	2,672,071
利益剰余金	3,841,434	3,717,450
自己株式	△242,248	△245,957
株主資本合計	8,964,407	8,836,715
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	3,514	1,965
評価・換算差額等合計	3,514	1,965
純資産合計	8,967,922	8,838,681
負債純資産合計	41,087,527	42,493,758

(2) 四半期損益計算書
(第３四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第３四半期累計期間 (自 平成23年４月１日 至 平成23年12月31日)	当第３四半期累計期間 (自 平成24年４月１日 至 平成24年12月31日)
営業収益		
受取手数料	6,297,679	5,013,900
売買損益	120,265	70,581
その他	136,171	157,740
営業収益合計	6,554,117	5,242,222
営業費用	4,982,183	5,093,231
営業利益	1,571,934	148,991
営業外収益		
受取利息	1,336	3,018
受取配当金	930	1,047
貸倒引当金戻入額	328,167	333,297
為替差益	―	7,430
償却債権取立益	6,969	4,499
倉荷証券保管料	11,741	9,583
その他	9,076	6,255
営業外収益合計	358,221	365,131
営業外費用		
支払利息	740	409
為替差損	9,477	―
貸倒引当金繰入額	―	134,647
敷金償却費	2,000	853
取引所清算費用	23,495	―
その他	96	89
営業外費用合計	35,809	136,001
経常利益	1,894,346	378,122
特別利益		
固定資産売却益	717	103
商品取引責任準備金戻入額	271,815	161,444
特別利益合計	272,532	161,548
特別損失		
固定資産除売却損	1,329	34,904
商品取引責任準備金繰入額	250,278	164,767
投資有価証券評価損	7,497	―
特別損失合計	259,105	199,672
税引前四半期純利益	1,907,774	339,997
法人税、住民税及び事業税	37,091	16,292
法人税等の更正、決定等による納付税額又は還付税額	―	2,009
法人税等調整額	889,116	136,733
法人税等合計	926,208	155,036
四半期純利益	981,565	184,961

(3) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。